



やまだ ひでお 議員
山田日出夫

畑の排水溝土砂上げは
大事ですね

問 農地周りの排水溝土砂上げの実施を

町長 保全会に加え何らかの対応を検討

農業被害や農業環境 の変化に対する認識

問 気象変動や農業被害
対策、農業環境の変化
に対応する認識は。

町長 降雹と集中豪雨で
主に玉ねぎの廃耕を余
儀なくされ、速やかな
支援策を講じる。また、
農業資材高騰、環境負
荷低減など農業の持続
を模索し、農業者の声
を聴いて進めたい。

問 災害対応では、人力、
機械力などの体制が不
十分だが、町、JA、業
者、農業者の協働体を
作るなど町予算を充て
るべきでは。

町長 一部の被災現場に
協働の動きもあり、ど

のような体制がとれる
か今後、検討をしたい。
今年の被害に対する
第2弾支援策は

問 豪雨と降雹の被害へ
の第2弾の支援策と検
討の経過は。

町長 7月15日の説明会
で廃耕の緑肥以外の経
費支援の要望などが出
た。

問 JAなど関係機関と
協議、廃耕の土づくり
追加支援を計上した。
問 反当たり2千円の根
拠は。

町長 廃耕の作業や管理
は農家で差があるが、
均等化し、JAの作業
単価を参考にした。

問 廃耕以外の畑でも、
被災で腐れなどの品質
低下、減収が心配だが、
資材などの高騰もある
ので第3弾の支援をせ
ひしてほしい。

町長 状況を見極め年内
をめどに支援を検討す
る。

保全会事業以外でも
排水溝の土砂上げを

問 畑周りの排水溝土砂
上げは保全会事業で対
応しきれないが、その
事業量の対処法は。

町長 地域保全会は平時
の維持管理を、町管理
の排水路は災害対応と
町・地域で協議してる。
今後地域や保全会
と協議し復旧にあたる。

問 災害が重なって土砂
上げ現場は荒廃したが、
平年であっても保全会



半分以上埋まった横断管も多い

では対応しきれない現
場が町内に多い。基盤
整備と並行し、足元の
排水溝土砂上げの予算
を早くつけるべきでは。

町長 保全会だけで処理
できない現状を認識し
ている。今後どうすべ
きか検討をする。

農産品販売施設の 設置の考えは

問 地産地消と近隣消費
者呼び込む農産品販
売施設の設置は。

町長 町が設置するので



農道とほとんど差がない排水溝

はなく、農業者の売り
方、供給量の先に店舗
の選択肢があり、店舗
出店等支援補助金活用
などがある。

農業塾の創設や地域 おこし協力隊増員

問 農業の学習・体験交
流を行う「農業塾」の
創設、農林業部門への
協力隊増員、農業とリ
ンクした民業育成の考
えは。

町長 「農業塾」の件は参
考意見として聞いた。
協力隊は、どの分野
で課題解決と役割をゆ
だねるか議論を尽くし
ていない。民業育成支
援の考えは持っていない。

問 協力隊の目的は本人
の定住や産業振興であ
り、目的達成には増員
が必要、必然ではない
か。

町長 協力隊は、今年度
始めたので、状況を見
て予算は検討する。



山田議員の一般質問を視聴できます